

感染症拡大防止の取り組みの様子

緊急事態宣言が1都3県に対して発表されましたが、横浜市立学校は休校せず、通常通り教育活動を行います。横浜市教育委員会から出されたガイドラインに基づき、大口台小学校では感染症対策に取り組んでいます。できることを確実に続けていくことが、感染症予防への一番の近道です。

ぜひ、学校と家庭で協力して取り組んでいくようお願いします。

白衣の全員貸与や電話での欠席連絡については、学校評価アンケートでいただいたご意見を参考に職員で検討し、実施を進めています。学校の児童がより安全に過ごせるようなご提案がありましたら、学校にお伝えください。ご意見ありがとうございました。

令和3年度から1着の白衣を、年間で使用するようにします

小学校では給食用に配膳の際に白衣を着用しています。1週間の当番活動後に洗濯をし、アイロンがけの上で次の当番の児童が使用しています。しかし、肌に触れるものの共有をなくし、衛生面での向上をはかるために来年度からは白衣を1人が1着の白衣を年間通して使用できるように学校から貸与します。全児童数分を確保する準備を進めています。感染症予防だけでなく、柔軟剤等のアレルギーを予防することもできます。

また、個人持ちの白衣を使用することも可能です。また、ご家庭で購入する際には、現在学校で使用している「白色で、前ボタンのもの」にしてください。詳細は、改めてお知らせいたします。

毎日の検温と健康観察票の提出をお願いしています

家を出る前に検温と健康観察をしてきた内容を健康観察票に記入して毎日必ず提出しています。保護者の方に体温と健康状態をチェックしていただいた健康観察票を、ほとんどの児童が毎日提出しています。朝の会の時間に教室でも、担任の先生が健康観察を行っています。



手洗いをこまめにしています



学校に登校して教室に入る前、校庭で遊んだ後、学習の合間、給食の前、トイレや清掃の後など、こまめに手洗いを行っています。せっけんを使って、ていねいに洗った後に清潔なハンカチでふくことも大切なことです。毎日、ハンカチとティッシュを持っているか保健係の子たちが確認をしている学級もあります。

入校者用の検温と消毒の装置を設置しています



今年は来校者の訪問を1階に限定したり、授業参観を学年ごとに実施したりと来校される方を少なくしています。ご家族の方々にもご協力いただいています。来校された方が、検温と消毒ができるように職員玄関に自動検温計と消毒用のディスペンサーも設置しています。

児童ができること、大人ができることに違いはありますが、みんなの命を守るという目的は同じです。できることを確実に行っていきたくと思います。ご協力ください。